

2024年7月24日に開催した、福岡県SDGs推進セミナー&交流会では、「持続可能なビジネスマッチング」をテーマに、宮谷直樹さま、事例紹介として、菅野秀明さまのお二人にお話しいただきました。



●会場で基調講演を行う宮谷代表取締役みなさん熱心に話を聞いていました

●基調講演 株式会社ゼロベース 代表取締役

宮谷直樹様

【企業の課題・学生の視点】

本講演では、中小企業がSDGs(持続可能な開発目標)に取り組み際に、わくわくする事業計画を立てること、できることから一歩踏み出すこと、そして思いでつながることの重要性が強調されました。

①「みどり産業」の例

「みどり産業」は廃棄物をリサイクルし、環境負荷を低減する取り組みを進め、今では循環型有機堆肥を使用した野菜づくりや観光資源化にも取り組んでいます。社員の意識改革も進んでおり、地域課題解決とビジネスの両立を果たしています。

②「ききょう会」の例

「ききょう会」は、障がい者の支援事業を行いながら、地域の野菜を販売するレストランを運営し、地域コミュニティの一翼を担っています。中期経営計画を見直し、社員教育を通じてSDGsへの理解を深め、行政の支援を受けながら新たな事業アイデアを実現しています。こうした取り組みが進展する中で、社員の意識も変わり、地域社会に貢献する意欲が高まっています。

【まとめ】

講演の最後には、難しく考えずに自社の取り組みを見直し、小さな一歩から始めることが大切であるとのメッセージが強調されました。わくわくする事業計画を立て、できることから一歩ずつ取り組むことで、持続可能なビジネスマッチングと地域社会の発展が期待できるとして、締めくくりました。

まず、中小企業がSDGsに取り組み上での課題として、早稲田大学の入山章栄教授が挙げられている「主観的な時間軸の違い」「経営者の『腹落ち感(納得と共感)の欠如』『取り組み方の不明確さ』を例に、特に、取り組み方の不明確さに焦点を当て、中小企業がSDGsに取り組みメリットやその方法を探る必要があることを紹介されました。

次に、最近の若者や学生側の視点を紹介いただきました。具体的には、彼らは、企業に対してSDGsへの取り組み姿勢、シエンダー平等や環境への配慮、社会への貢献、そして従業員の幸福度を重視するようになってきており、企業はこれに応えることが求められているという内容です。

【取り組みの4つのステップと「六方よし」】

企業がSDGsに取り組み際に必要な手順は、次の4つのステップで進めるべきだと提案されています。

- ①まず自社の事業をマッピングすることから始める(マッピング)
- ②次にその取り組みを改善
- ③新たなパートナーと共にチャレンジするプロセスを経る
- ④全国的に共創していく段階へと進展する。(全国的共創)

●事例紹介

株式会社多久製作所 取締役生産本部 SDGs 推進

菅野秀明様

【4つのステップの実践】

多久製作所は、持続可能な社会の実現を目指し、「理解、改善、創造、仕組み化」の4ステップでSDGs活動を推進しています。まずは、ステップ1となるトップによるSDGsとESGの取組宣言を行い、ステップ2として事業認定を受けました。現在では8つのゴールに基づく活動を展開しています。

【取り組み事例】

特に、省エネや省スペース、省資源、低コストを意識した技術開発に取り組んでおり、環境保全と価値創造を両立することを目指しています。また、日本の老朽化した水道インフラを改善する技術や製品の開発にも注力し、地域や社会全体への貢献を強化しています。

障がい者支援や地域との連携にも注力されており、SDGs就活を通して若者との関係を深め、地域社会への貢献を強化しています。今年5月には、世界水フォーラムに参加し、SDGs活動の重要性を国際的に発信しました。

【まとめ】

菅野さんは、SDGsへの取り組みが企業にとって選ばれるための条件であり、「お客様は地球」と心がけて行動することを強調されました。

あわせて、「誰一人取り残さない」というSDGsのビジョンに基づき、近江商人の「三方よし(売手よし、買手よし、世間よし)」から発展させた「六方よし(未来よし、地球よし、作り手よし)」の経営理念を提唱されました。

この「六方よし」の経営理念で取り組むことで、企業は地域社会や次世代に対しても責任を持ち、共感を生み出しながら持続可能な「コミュニティ」を形成することが可能になるといっています。

【事例紹介】

続いて千葉県市原市における2件の事例紹介がありました。千葉県市原市の2023SDGsアワード最優秀賞のみどり産業と奨励賞のききょう会の事例です。



7月22日から第8期の申請開始!

<福岡県SDGs登録制度に登録してみませんか?>

「福岡県SDGs登録制度」は、SDGsに積極的に取り組む企業や団体を県が広く公表し、SDGsへの貢献を「見える化」することで、登録事業者の取り組みを支援する制度です(2024年7月末時点の登録数 1173業者)。登録すると、県ホームページでのSDGs達成に向けた取組の紹介、県のオリジナルロゴマークの使用、競争入札参加資格審査における加点、「ふくおか県政推進サポート資金」の活用、商工団体や金融機関による伴走支援などを受けることができます。



<セミナー概要>

日時 2024年7月24日 14:00~15:40
会場 福岡県千代合同庁舎
テーマ 持続可能なビジネスマッチング
講師 株式会社ゼロベース 代表取締役 宮谷直樹
事例紹介 株式会社多久製作所 取締役 菅野秀明